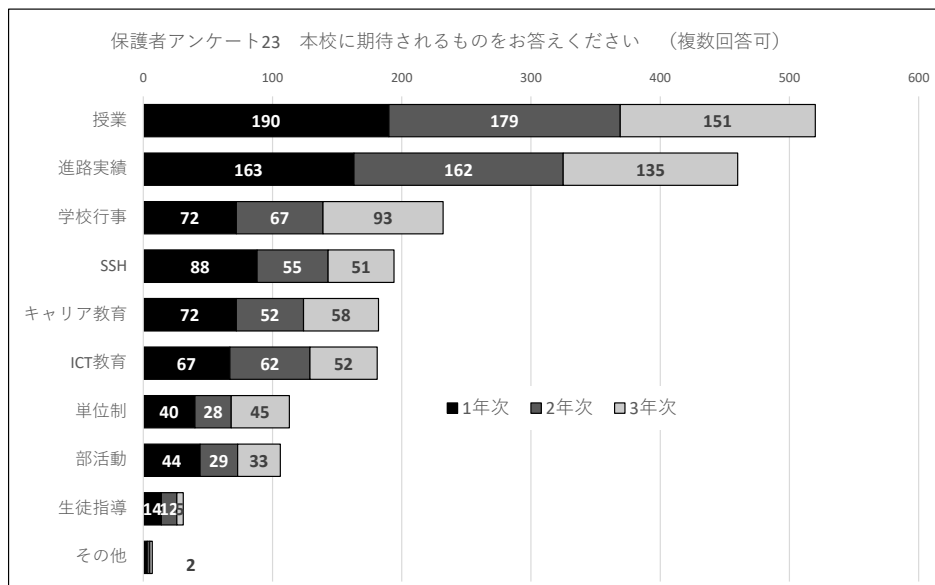


令和4年度 学校評価アンケート 結果、現状分析及び今後の課題②



担当	現状分析	今後の取組み・改善点
1年次	<p>「授業の充実と学力の保証」「進路指導と進路実績」の2項目に期待する保護者が圧倒的に多い。</p> <p>スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業、キャリア教育にも関心が高い。スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業として、探究活動、兵庫県南部地震と防災研修、講演会など、またキャリア教育としては、職業ガイダンスセミナー、関西企業訪問などにおいて、生徒が充実感を感じ、それが保護者の期待の高まりに繋がっていると考えられる。</p>	<p>進級に向けて、改めて自分の学習習慣を振り返らせようとして、中堅学年としての自覚を芽生えさせる。進路選択の理由(動機)と描く将来像、今後の学びについて、改めて考えさせる。</p> <p>年次通信、三者面談を活用し、学校と保護者との連携を深め、生徒の希望進路実現へと繋げる。</p>
2年次	<p>(全員参加というわけにはいかなかったが) 修学旅行を実施できたことに代表されるように、少しずつコロナ禍以前の行事開催の状況に近づいてきた。同時に中堅の年次として部活動や生徒会活動において活動したり、SSH課題研究発表や論文作成に向けて、かなり忙しい日々を送っている。余裕のない状況で、進路に向けてもまだ手探り状態である。</p> <p>面談などを通じて保護者との連絡も密に取ろうとしているが、まだ学校の様子が十分に伝わっていない。同時に、生徒には「自己を知り、将来どのキャリアを積むのか」さらに考えさせていく必要がある。</p>	<p>気持ちを切り替えて高校生活、特に学習の取り組みの質を向上させる指導に取り組もうとしている。特に3年次0学期としての位置づけを意識させ、授業は勿論、LHR、面談などを利用して、「何をいつやるべきか」と共に進路の方向づけを考えさせ、3年次へとつなげる。</p> <p>折に触れ、保護者と連絡を密に取り、十分に意思疎通を図ってきたい。また、76回生集団として、多様な個性を互いに尊重し合い、人間関係の構築をより強固にしていく。</p>
3年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業の充実と学力の保証」「進路指導と進路実績」の2項目に期待する保護者が圧倒的に多く、目前に迫る受験への意識が現出したものと思われる。</li> <li>・「学校行事」に期待する保護者が多い。コロナ禍以前の学校行事をイメージするのではなく、精選され、新たな取り組みの中で生徒が成長していることを、保護者が実感できるような取り組みになれば、と考える。</li> <li>・本校の柱である「SSH」「キャリア教育」「単位制」にも一定数の期待があるようである。</li> <li>・「この質問についてはよくわからない」という回答が多い項目が複数ある。</li> </ul>	<p>3年次として今後取り組めることは限定されるが、生徒全員の進路希望実現のために尽力したい。</p>